

中央農業高校では、1haの圃場を活用して牧草を栽培しています。春にはスーダングラスという牧草の作付けを行い、順次刈り取りました。その後、乾燥させ、ロールベアラ、ラッピングマシンという装置を用いて密閉し乳酸発酵させることで長期保存ができる「ロールサイレージ」状態に調製しました。これらの作業はトラクタをはじめとした農業機械を使って行っており、実習や課題研究等で生徒たちも機械操作します。

今回はエン麦とイタリアンライグラスの播種を行いました。ブロードキャストと呼ばれる作業機をトラクタに取り付け、走りながら種をばら撒きます。今回操作している生徒は、スーダングラスの栽培の際も操作していたので慣れている様子です。後ろの作業機の状態を確認しながらも笑顔で運転していました。

